

いただきました。

現在、昭和ロマン蔵案内所でロケ地ガイドマップを配布しているほか、豊後高田市公式ホームページでロケ地を紹介しており、ロケ地巡りと併せて「昭和の町」観光をお楽しみいただけます。

▼映画「坂道のアポロン」 豊後高田市ロケ地の紹介

http://www.city.bungotakada.oita.jp/page/page_04045.html

<映画公開記念イベントを開催>

多くの方にロケ地・豊後高田市を楽しんでいただくために、撮影で使用されたセットや映画のシーン写真のパネルを展示した企画展、オリジナルグッズがもらえるロケ地巡りスタンプラリーなどを開催しています。

<http://www.city.bungotakada.oita.jp/events/detail/384>

<映画「坂道のアポロン」>

原作は、名作少女コミック「坂道のアポロン」(小玉ユキ作)で、2012年にはアニメ化もされた人気作品です。

主演の知念侑李さんをはじめ、中川大志さん、小松菜奈さん、ディーン・フジオカさんなど実力派キャストが出演。監督は、「僕等がいた」や「ホットロード」などを手がけた青春映画の名手・三木孝浩監督です。

■映画「坂道のアポロン」公式サイト

<http://www.apollon-movie.com/>

<豊後高田昭和の町とは>

「豊後高田昭和の町」は、昭和30年代の懐かしい街並みが今なお残る商店街です。

昭和の町の各商店は、“一店一宝”として、その店の歴史を物語る昭和のお宝を展示し、また、“一店一品”として、そのお店自慢の昭和の商品を販売しています。

昭和32年式のボンネットバスが土・日・祝日を中心にまちなかを無料運行。車掌の楽しいガイドで、車内は常に笑い声が響き渡っています。

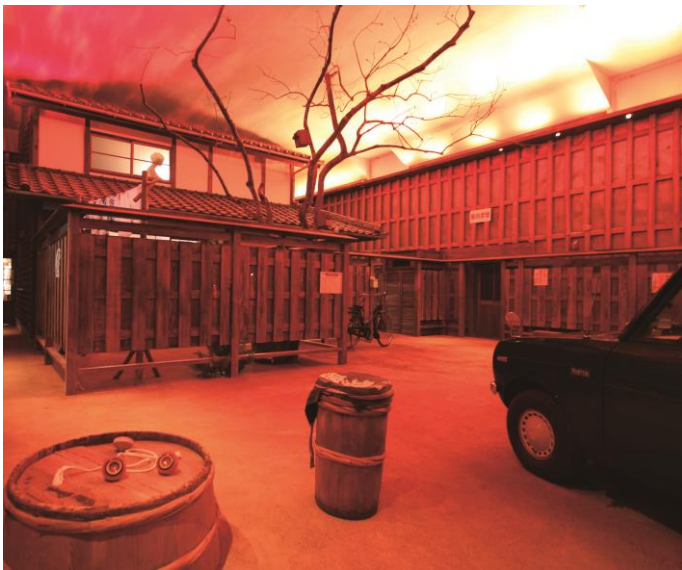
至るところで昭和の香りがする昭和の町商店街。ぶらりと歩けば、どこか懐かしいあの時代に出逢えることでしょう。



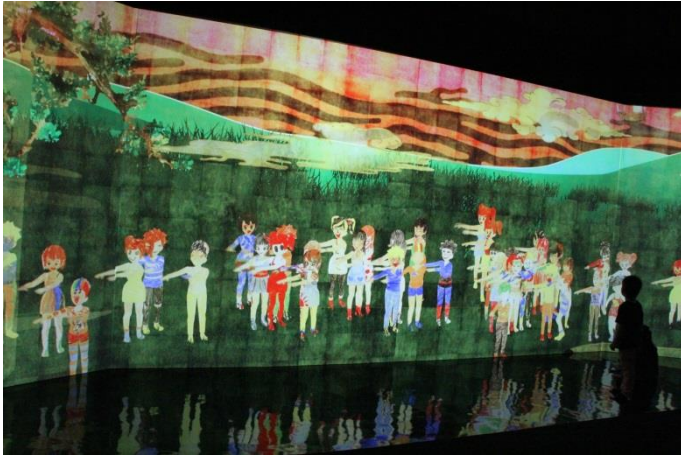
↑「豊後高田昭和の町」の街並みとボンネットバス



↑懐かしいおもちゃの数々が並ぶ「駄菓子屋の夢博物館」(昭和ロマン蔵内)



↑昭和30年代の民家や商店、学校の教室を再現した「昭和の夢町三丁目館」(昭和ロマン蔵内)



↑最新テクノロジーの体験型デジタルアート「チームラボギャラリー昭和の町」(昭和ロマン蔵内)



↑商店街にトリックアート「玉津プラチナ通り」(銀座街商店街・中町商店街)

▼昭和の町のたのしみかた (市公式観光サイト)

<https://www.showanomachi.com/special/syowa.html>

<坂道のアポロンのロケ地を紹介>

①ムカエレコード地下室（旧金谷製線工場）



工場内に地下室セットを建込み、薫が千太郎、淳一、勉とジャズセッションをするシーンを撮影。律子や百合香を含めた切ない恋模様も描かれた場所です。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/YvHvyfQyefK2>

②千太郎の家（路地の一軒家／是永町）



千太郎が母・弟妹たちと暮らす家として登場。ここで薫とスイカを食べながら恋の作戦会議をする場面も。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/G81knrTfh6q>

③バイクで駆け抜ける商店街（駅通り商店街）



千太郎の運転するバイクに乗った律子が、薫への想いを打ち明けようとするシーンで使われた商店街です。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/Jk92zrdARx12>

④淳一が暮らすアパート（次郎丸アパート）



大学を辞め故郷に戻ってきた淳一。

彼に想いを寄せる百合香との、今後の行く末を決める重要なシーンで登場します。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/JR4gTz45qau>

⑤千太郎と律子がバイクで通った商店街（新町2丁目商店街）



クリスマス当日、千太郎が後ろに律子を乗せバイクで走った商店街として撮影。

物語を大きく左右する重要な場面です。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/AN9Cyc822B>
r

⑥千太郎の家（路地の一軒家／新町）



千太郎の家の玄関として撮影。薫と千太郎が激しく言い合いするシーンを撮影しました。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/qQbWqwyZS>
BJ2

⑦ムカエレコード（野村電機商会）



律子の実家であり物語のシンボリックな場所として登場。薫と律子の切ない糸電話のシーンもここで撮影しました。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/dnPpEvjs598>

2

⑧ムカエレコードがある商店街（新町1丁目商店街）



ムカエレコードがある商店街として随所に登場。撮影中は、異国情緒漂う雰囲気 연출しました。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/kB8zETrFTqs>

s

⑨赤い公衆電話があった商店街（銀座街商店街）



薫が律子に電話するシーンで登場。普段は道路にトリックアートが描かれていて、歩くだけでも楽しい商店街。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/5yqsh7r6viQ>

2

⑩薫が律子に電話した店（かどやストアー）



店の前に設置した赤い公衆電話から、薫が律子に電話をかけて、図書館に誘うシーンを撮影しました。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/sKzw4mwzmM52>

⑪淳一のアパートまでの道（中央公民館横 石階段）

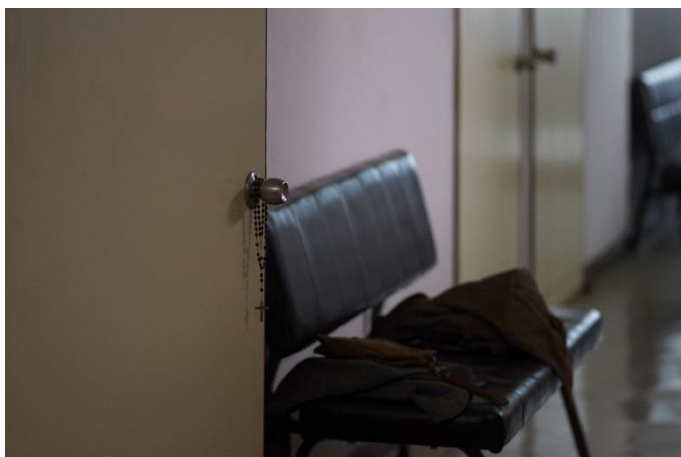


アパートから出て来た淳一と百合香に、千太郎が鉢合わせるシーンを撮影しました。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/asMAxDCrjGR2>

⑫薫が駆けつけた病院（安部内科）



物語の後半で、薫が息を切らして駆けつけた病院。廊下と病室で撮影しました。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/uGAdodWWN3F2>

⑬キスした神社（天神社 境内）



激しい雨を降らせ、雨宿りする薫と律子のキスシーンを撮影した神社。千太郎の幼少期の回想シーンでも登場。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/Ccv4mPQ7tKE2>

⑭クリスマスに賑わう通り（金谷製線倉庫）



敷地内を装飾し賑やかな様子を演出。

パーティを待ちきれず、千太郎が律子とバイクで薫を迎えに行く場面で登場。

⇒詳細地図（Google マップ）

<https://goo.gl/maps/btn43h79i9K2>

【■全力発展中な豊後高田市】

豊後高田市は、平成 27 年 3 月 31 日に新市誕生 10 周年を迎え、新たなブランドコンセプトとして「全力発展中 豊後高田市」を掲げ、ブランドマークを制定しました。

このブランドマークは、まちが全力で挑んでいく「熱気や情熱」を表現しています。

豊後高田市は、市民一人ひとりが何事にも「全力」で取り組み、「夢をかたちに 未来に光り続けるまち」の実現に向けて全力で発展し続けます。

